

防犯カメラを活用し、死角のない安全なまちをつくる！

新型コロナのピンチをチャンスに変える取組！

—堅田学区では、どのようなまちづくりに取り組んでいますか？

堅田学区では、子どもたちの居場所づくり「虹の家」、真夏の一大イベント「堅田湖族まつり」をはじめ、サロン活動や交通安全の啓発活動などにも取り組み、安全で安心な、住みよい魅力あるまちづくりに取り組んでいます。

—新型コロナウイルス感染症の影響はありましたか？

令和2年度は、多くの人が集まる「堅田湖族まつり」や企画していた様々なイベントが中止となり、開催を待ち望んでいた方々から残念な声を多く聴きました。

イベントを開催できなかったことから、自治会員からいただいた自治会費をどのように活用し、自治会員の方々に納得していただけるか考えることになりました。

防犯カメラの活用で死角のないまちづくりを

—どのような解決方法がありましたか？

自治連合会では話し合いを重ね、安全で安心なまちづくりを進めることで多くの方へ還元しようと考え、防犯カメラの設置を進めることにしました。

堅田学区は、びわ湖に近い地域は昔からの古い地域でコンビニもなく、防犯カメラを設置した店舗は多くありません。

また、堅田小学校、堅田中学校があり、多くの児童、生徒が行き交い、交通安全、防犯の面でも注意が必要です。

このような状況を踏まえ、地域内の出入口や通学路、子どもたちの遊ぶ公園などに、防犯カメラを効果的に設

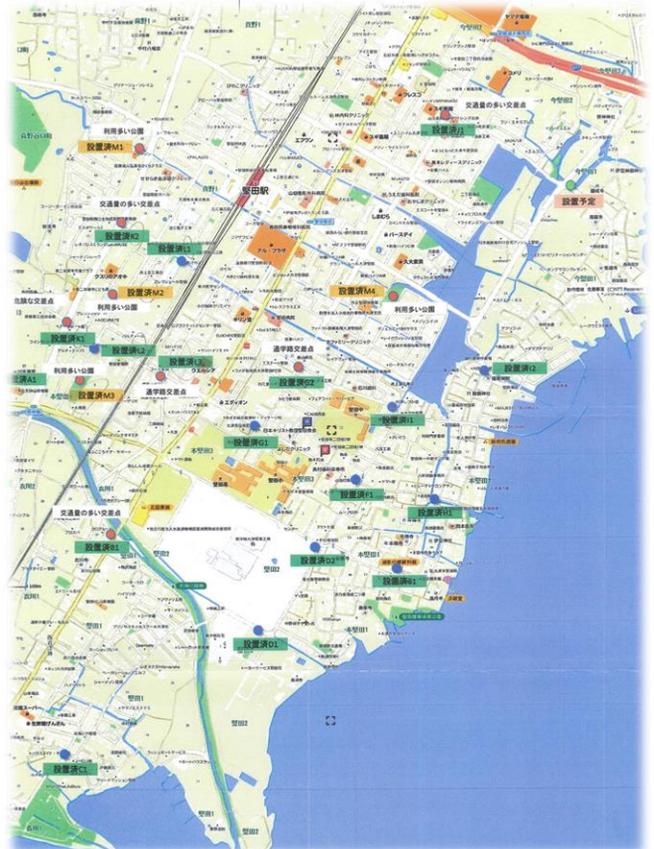
置することにしました。

翌令和3年度には、地域で発生した特殊詐欺被害の捜査で、防犯カメラが効果を発揮し、大津北警察署長から感謝状をいただきました。

—今後はどのようなまちづくりに取り組んでいきますか？

今後も、創意工夫をしながら、子どもから高齢者まで、みんなが安心して暮らしていけるよう、楽しいイベントや安全対策に取り組んでいきたいと思います。

【取材日：令和4年12月23日】



→ 堅田学区自治連合会で策定した防犯カメラの設置計画（令和2年度当時）

← 大津北警察署長からの感謝状

